

第5回

ソーシャルデザインフェス

テーマ..おせっかいのすすめ

みんなに役割がある社会のつくり方

講演と対話会

講演..おせっかい事例

①「LIVING LOOP」が生み出す「みんながくつろげる街のリビング」とは？」

宮田サラ 株式会社まめくらし / 株式会社Tea 取締役、高円寺アパー
トメント 女将

②「あおいケアが実践する“全員参加型の地域づくり”とは？」

加藤忠相 株式会社あおいケア代表取締役 他

対話会..トークセッション

講演後、参加者は少人数のグループでの対話を通じて、分かち合いを行います
参加者の対話にコーディネーターが加わり、より深く広い対話へと展開します

① グループワーク

② パネルディスカッション

コーディネーター

中村陽一 立教大学名誉教授、HIRAKU 51 IKEBUKURO SOCIAL
DESIGN LIBRARY フアウンダー

パネリスト

加藤忠相

宮田サラ

併設..情報提供の場

社会問題の解決に向けた取り組みを展示します。展示物は、活動や事業を紹介
するチラシ・パンフレットや写真、研究成果報告資料などをご覧ください



2024ソーシャルデザインフェス

2025年

6/1(日)

事前登録制

●日時 2025年 6/1 (日) 13:00~16:45 (開場12:30)
17:30まで自由参加の交流会

●場所 立教大学 池袋キャンパス 太刀川3階カンファレンスルーム

●参加費 一般2,000円 大学生1,000円 高校生以下無料

●主催 ソーシャルデザインフェス実行委員会

●後援 立教大学大学院社会デザイン研究科、社会デザイン研究所
一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ

参加申し込み



<https://forms.gle/29NJA38NCX6TwksS9>

登壇者プロフィール



宮田 サウ

(株) まめくらし／(株) nest 取締役 高円寺アパートメント 女将
岡山市生まれ。ジェイアール東日本都市開発の賃貸住宅「高円寺アパートメント」の女将として、住人同士や地域との関係性づくりに取り組む。場づくりを学ぶ学校「大家の学校」を運営。
池袋東口グリーン大通り・南池袋公園を活用し、エリア価値を高めるための社会実験やマーケットを企画運営。地元岡山市の下石井公園の運営も行う。



加藤 忠相

1974年生まれ。東北福祉大学社会福祉学部社会教育学科卒業、大学卒業後に横浜の特別養護老人ホームに就職。3年後退職し、平成13年に株式会社あおいけあを設立。「グループホーム結」「デイサービスいどばた」の営業をはじめ。平成19年より小規模多機能型居宅介護「おたがいさん」を開始。平成24年11月に「かながわ福祉サービス大賞～福祉の未来を拓く先進事例発表会～」において大賞を受賞。平成29年4月「おとなりさん」開所。H28.10 NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀～」“あなたらしさ”は、ここにある 介護施設経営者・加藤忠相、R1.5.18 Ageing Asia Global Ageing Influencer 2019（アジア太平洋地域の高齢化に影響を与えている最も影響力のある指導者）に選ばれる、R5.5.25 SUPER AGEING JAPAN OUTSTANDING ENTREPRENEUR OF THE YEAR2023受賞



中村 陽一

立教大学名誉教授、東京大学大学院情報学環特任教授、青森中央学院大学経営法学部特任教授、神奈川大学国際経営研究所客員研究員、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ代表理事、株式会社ブルーブラックカンパニー代表取締役、社会デザイン学会会長。編集者、消費社会研究センター代表、東京大学客員助教授、都留文科大学教授、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・法学部教授、社会デザイン研究所所長等を経て現職。80年代半ばより市民活動・NPO/NGOの実践的研究、基盤整備、政策提言に取り組む。一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク常任顧問等SB/CB推進、民学産官協働によるまちづくりの専門家としてCSR、SDGs、ESG投資等もカバーしている。
ニッポン放送「おしゃべりラボ～しあわせ Social Design」パーソナリティ。編著・共著に『社会デザインをひらく』（監修、ミネルヴァ書房）、『ひとびとの精神史6』（岩波書店）、『3・11後の建築と社会デザイン』（平凡社新書）、『21.5世紀の社会と空間のデザイン』（誠文堂新光社）等多数。

ソーシャルデザインフェスは、多様な人々が集い、共通の関心や課題について意見し、相互理解を深めながら協力関係を築く場です

テーマ：おせっかいのすすめ ～みんなに役割がある社会のつくり方～

私たちは、SNSを通じて人とつながりやすくなりました。しかし、孤独を感じる人も少なくありません。今、求められているのは、他人の悩みに真剣に向き合い、ときには叱ってくれるような「おせっかいな人」ではないだろうか。

2025年のメインテーマを「おせっかいのすすめ」として、人と社会が重なり合う場（あわい）の持つ意味について、実践者と参加者が対話を重ねながら探求していきます。

プログラム

- 13:00 開会（開場12:30）
- 13:10 講演 事例紹介
- 14:10 質疑応答
- 14:30 グループワーク
- 15:15 休憩
- 15:30 パネルディスカッション
- 16:30 閉会
- 16:45 自由参加の交流会（～17:30）

講演：2名の実践者に事例を紹介してもらいます

1. 池袋東口グリーン大通りをメイン会場として、くつろげる空間を作り維持している実践者
2. 多機能型居宅介護サービス事業から多世代型アパートへ展開している実践者

対話会：トークセッション

講演後は、少人数のグループでの対話の場を提供して、さらに、コーディネーターの仲介によってより深く広い対話へと展開する場を提供します



ソーシャルデザインフェス2024 参加者の声

- ・ 学生生活から離れてしまうと、物ごとを深く考える機会がめっきり減ってしまうので、私にとって、今日のようなイベントは非常に貴重であり、且つ多くの刺激を得ることが出来ました
- ・ 今、社会人修士を検討しています。このような学びの継続、ぜひ続いてくれるといいなと思いました
- ・ 自分自身も新しい場所でコミュニティ形成を始めるところなので、セッションでのお話はとても興味深かったです
- ・ 現代は家族形態が閉じ、住まいが閉じ、ネットによりコミュニケーションも閉じつつある。この社会的生き物として必要とする外部との関係性をどこで取ることが、現代では合理的になるのか？という疑問を得た

★サポートスタッフ募集★

「UDトーク」を使用したリアルタイム字幕の修正経験がある方、また情報保障に関する人的ネットワークをお持ちの方のご協力をお願いしております。
ご関心のある方は、ぜひご連絡ください。